

## ミドルクライシス②ミドルの「よわみ」

企業経営漫談士 岡野実空

「我々ミドルの弱みは何ですか？」ある年の忘年会ならぬMCN「想年会」で出た質問です。

とっさに「よ・余裕、わ・笑い、み・魅力」と語呂合わせで答えたのですが、よほどの的を射ていたらしく、ドン引きされ、シーン。都合の悪い部分だけは「忘」年会なので、どなただったか全く記憶にありませんが、この場を借りて深くお詫びいたします。

### よわみ1: 余裕

「鼻唄」が出るか否か？が有無の目安。「体力的」なことはさておき、「精神的」な要素の方が大きい部分です。しかし現在のミドルは大変。その点、高度成長時代のミドルは純粋な「マネジャー」が大半で、実務の大半は部下が請け負う気楽な稼業。それが安定成長期に入ると、「生産性向上」という大義名分のもとに「プレイング・マネジャー」が過半になりました。要は「人減らし」による利益確保です。しかもそれが行き過ぎ、いまや「マネジング・プレイヤー」が大半という実態には、ミドルの方々に同情を禁じえません。これらには直接お手伝いができませんが、「体力的」「精神的」余裕に密接な関係がある、「時間的」余裕については大いに改善の余地がありそうなので、項を改め、このコラムで助言を差し上げたいと思います。

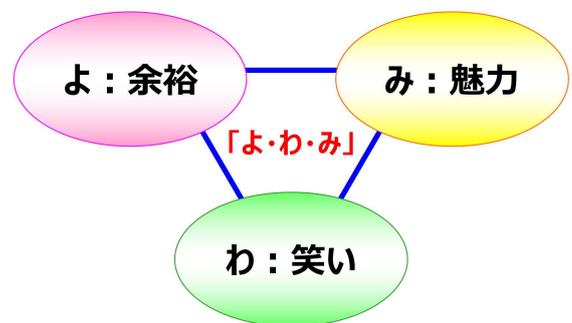
### よわみ2: 笑い

ピンチに「シャレたひと言」が出るか否か？が目安。最高レベルは「ウィット」(機知、頓智)ですが、せめて「ジョーク」(冗句、冗談)は飛ばしたいもの。この際、「オヤジギャグ」でも我慢しましょう。

先日の日経新聞「春秋」に、ジョークが苦手なトランプ氏憧れのレーガン大統領が、1981年に狙撃された直後の応答が紹介されていました。手術台を取り囲んだ医師団に向かい、「君たちは共和党员だろうね？」とはさすが！しかしそれに、「今日は全員、共和党员ですよ」と応じた医師もスゴイ！！(日本語なら「キョウウ党员です」。残念ながら我が国は民主制が根付いておらず？共和党が存在しないので使えない)

「笑い」は個人や民族の成熟度を示す重要な指標なので、これまた別項で取り上げたいと考えています。

### E-16 ミドルクライシス②ミドルの「よわみ」



### よわみ3: 魅力

「魅力」は「個性」で判定できます。それでは、「個性」とはなにか？学友の心理学者・富田 隆氏によれば、個性とは「他人がマネしたくなる性格や性質のこと」で、ヘンな趣味とか、下品な下ネタなど、とてもマネしたくない、嫌な感じのするものは「個性」と言わないそうです。

私は「個性的」な企業人に会ったら、必ず「非日常」を質問するようしていますが、皆さん例外なくユニークな「趣味」をお持ちで、聞いているこちらワクワクします。「非日常」から学んだことが、必ずその方々の特長ある仕事に反映されていることは間違いありません。

ところが近年、それらのユニークさは既存事業の「生産性向上」に不要と考えられ、「個性的」な方々の居場所は企業の中にどんどん無くなっています。戦後生まれの代表企業・ソニーの魅力的なOBの方々はその生き証人。ソニー退職後、彼らの他分野にわたる活躍ぶりは目覚ましい限りです。

「隗より始めよ」ならぬ「よわみより始めよ」。ミドルの皆さん、「よわみ」をどんどん強化しましょう！まずは自分、そして職場で。「よわみ」は、企業が生む価値や利益の強力な「源泉」であり、「触媒」なのです。

2019年8月17日(初出平成29年3月13日) 実空